

| | |
|-----------|--|
| 研修コース名 | (和文) アフリカ地域農業機械化促進 |
| | (英文) Promotion of Agricultural Mechanization for Africa |
| 研修期間 | 2025年9月22日～2025年12月6日 |
| 使用言語 | 英語及び仏語 |
| 参加国(今季) | スーダン、タンザニア、ガーナ、ブルキナファソ、カメルーン、チャド、コートジボワール、ギニア、セネガル、シエラレオネ、トーゴ、マダガスカル、ケニア、ジンバブエから14名参加 |
| 案件目標 | 稲作振興を進めるための農業機械化戦略策定又は更新に必要な知識を研修参加者が習得する。 |
| 研修概要 | <p>農業機械化政策立案を担う行政官を対象としています。講義や討議を通して各国の農業機械化政策の現状と課題への理解を深めつつ、実習を通して各種機械の基本的な性能を理解します。プログラムには以下の内容が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業の基本政策と農業機械化の政策の位置づけに関する講義/・農業機械化と営農に関する講義及び視察/・農業機械の基本的構造の理解や性能評価に関する講義及び実習/・農業機械化戦略に向けたロードマップ作成・発表・討議 |
| SDGs等への貢献 | ◎SDGsゴール2 飢餓・食料安全保障・栄養・農業のうちでも特に「生産性を向上させ、生産量を増やす」目標に貢献します。 |



耕耘機性能試験



精米機の構造・機能理解に係る実習



農業機械化政策に係る講義・討議



タンザニアでの農業機械利用の視察